

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	藤田 太朗

開催日時	令和8年2月19日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 大会議室
出席者(委員)	植田紀美子 委員、澁谷栄作 委員、権藤幹晶 委員、前田浩 委員、 楯 希代見 委員、山崎明美 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長、教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和8年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 開会挨拶 2 協議 3 保護者からの意見書について 4 その他【事務局】	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
各委員からのご意見	
3 協議	
1) 防災ボランティアについて	
・素晴らしい経験をされていて、胸が詰まった。ぜひ、行かなかった生徒に伝え、ご自身でもこれからの生活に活かしてほしい。	
・今ではインターネット等で学ぶ機会もあるが、直接訪問して学んだというのは貴重な経験になったと思う。	
2) 進路状況報告【進路】	
特になし	
3) 学校教育自己診断結果【首席】	
・障がいに関する理解の項目について、単に手話力だけと取らず、障がいへの理解も深めてほしい。聴覚障がいのある先生方中心に、生徒への理解促進やコミュニケーションをつないでいくように推し進めてほしい。	
・最近では入学してすぐの1年生から、具体的な進路指導のニーズがあるので、次年度から進めてほしい。	
・今は福祉の支援機関も充実しているので、ぜひ活用してほしい。卒業後も就労のサポートをしてくれるところもある、ということを知る意味でも有意義である。	
・自分の困り感や要望を伝える、セルフアドボカシーが大切。ぜひそういう力を伸ばしてほしい。	
4) 令和7年度学校経営計画 総括【校長】	
5) 令和8年度学校経営計画【校長】	
・今の方向性は、とても良い。先生方が授業をする際には、手話を読み取るスキルも必要となる。生徒の発言をどれだけ理解できているか、どれだけ汲み取って授業に生かしているかも、研究授業や研修等に取り入れてほしい。	
・聴覚障がいのある方が社会に出て、支援団体とつながっておらず出身校に頼るケースも多い。卒業生のアフターケアも計画に入れて、今後も続けてほしい。	
学校経営計画について、承認	
4 保護者からの意見書について【事務局】	
・意見書の提出はなし	

次回の会議日程	
日時	令和8年5月28日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 大会議室